

# 第2回まちづくり推進町民会議を開催

## 町政に意見要望～観光や移住、環境問題など幅広く

平成25年度第2回まちづくり推進町民会議(山崎晴一議長)が10月2日(水)10:00から、美深町役場大会議室において開催され、委員16人と町理事者、各課長等あわせて28人が出席しました。同会議は、町内各団体や自治会からの推薦委員、公募委員の30人で構成される住民組織です。会議では、町側から第5次総合計画の平成24年度事業実績や、行政評価結果を説明。まちづくりに関する懇談では、委員から今後のまちづくりに関し、活発な意見が出されました。

会議の内容	(1)山崎晴一議長あいさつ
	(2)山口町長あいさつ
	(3)第5次総合計画平成24年度事業実績－①
	(4)平成25年度(平成24年度事業)行政評価結果－②
	(5)まちづくりの推進についての懇談－③



会議の様子

### ①第5次総合計画

#### 平成24年度事業実績報告

計画 30億9,026万円

実績 28億7,482万円

実績書の見方や総合計画書との関係などについて説明しました。

### ②平成24年度事務事業

#### 行政評価結果を報告

美深町行政評価の実施に関する取扱要綱に基づき実施した美深町行政評価報告書について説明。

評価・検証の方法や経過、結果の概要及び活用方法などについて説明しました。

### ③出席委員からの主な質疑・意見

委員～観光面では特色や魅力のあるPRと、外国人観光客誘致をしてほしい。

町長～びふか温泉では、外国観光バスに昼食の提供などしている。チョウザメも含めて考えていきたい。

委員～蛾が街灯に大量発生。駆除の方法は。

住民生活課長～蛾の根絶は難しい問題。街灯のLED化を順次進めている。

委員～スズメバチ発生。駆除費用負担は。迅速に対応方法は。

住民生活課長～スズメバチ駆除は基本的には実費弁償。緊急を要するものは町としても考えたい。

委員～総計の中で移住の推進関係予算の記載は。

総務課長～受入住宅の対策ちょっと暮らしとして掲載。

委員～長期滞在型、体験型から移住へ。チョウザメの目的や経過これまでの経費と今後の展開と方向性は。

企画G主幹～30年前前から取り組み。失敗を繰り返したが毎年のふ化には成功。活用法を研究中。恩根内のプール跡を改修して増産。

町長～観光流入、定住に向けいろんな取り組み継続。

委員～チョウザメは観光という点で温泉の近くにあることが望ましい。自分は移住体験ツアーがきっかけで移住。都市部でのPRなど自分も協力したい。

総務課長～移住体験ツアーは3年実施。以降。住宅の整備をおこない、今年は冬の魅力発見のツアーを企画。情報を発信しながら観光流入と定住促進を図りたい。

齊藤～望みの森のトイレ水洗化など改修を。

産業施設課長～将来に向け水洗化は検討してく。

委員～町施設のトイレ洋式化はどのような施設か。便座クリーナー(アルコール)の設置は。町民プールはプールそのものの改修が必要な状態。

総務課長～洋式化は役場3階を改修、役場身障用と児童館を洗浄機能付きに、保健センター、振興センター、ふれあい公園、北町ゲートボール場、ゴルフ練習場、プールの8施設。便座クリーナーはペーパー対応。プールは9月補正し全体改修を行う予定。

委員～全町ミニバレー大会の後は。

教育長～3年くらい前からデータを取りながら協議しているが、近い将来、言われるような形で進むと思う。

委員～スキー場は、雪が十分にある時は、期間を延長できないか。

教育長～予算が許せば出来る範囲で長くしたい。

委員～気候の変動がみられるが、ハザードマップ、防災マップの更新はどのようになっているか。

総務課長～一昨年から見直しに取り組んでおり完成させて住民に周知したい。地域の皆さんの知恵をいただきながら作成したい。

議長～観光協会の事務局が2階に引っ越し広くなった。地域おこし協力隊も併設。機会があれば来て意見をいただきたい。事務局後は村上春樹の文庫になる、書籍の寄付もお願いする。